



お問い合わせ先

株式会社 三五 総合企画部 ESG推進室

〒456-0023 愛知県名古屋市熱田区六野一丁目3番1号
TEL:052-882-3593 FAX:052-872-6890

<https://www.sango.jp/>



表紙写真:ピオトープへ続く道(三五本社)



マフラーの三五から、
環境の三五へ



SANGO Group Report
2022

世界の仲間たちとともに、地域の皆様のために。 「環境の三五」を掲げ、持続的成長を目指します。

株式会社三五は、1928年の創業時より従業員との「家族的な絆とチームワーク」を原動力に、マフラーやエキゾーストマニホールド、プレス部品、鉄鋼二次加工製品等の自動車部品を手掛けて参りました。これまでに広がったお客様とのつながりに厚く御礼申し上げます。

当社は2021年6月に中期経営計画2025を発表し、電気自動車(EV)の普及やカーボンニュートラルへの対応などの大きな環境変化を考慮した戦略を立てることができました。

また、グローバルな視点においても、透明性のある経営基盤構築に向け、E(環境)、S(社会)、G(ガバナンス)の強化に努めるとともに、SDGsの中でも、特に12の目標に注力し、全ての企業活動を通じてSDGs達成に貢献していきます。

私たち三五グループは、中期経営計画2025を達成することで、広く社会に貢献し、成長し続ける企業を目指し、お客様と取引先の皆様のご期待に応え、愛される三五であるよう引き続き努力して参ります。今後ともよろしくお願いたします。



会長 恒川 幸三

現在、私たち三五グループは EVの増加やカーボンニュートラルへの対応、昨今のさまざまな市場環境や生活環境の変化等、これまでに経験したことのない大きな環境変化への対応が急務となっております。この大きな環境変化に柔軟に対応するために、排気系事業で培った材料加工から部品製造まで一貫した金属加工技術および環境対応技術の専門性と実績を中核に置き、世界に貢献する環境対応製品の創出、地球環境へ配慮した活動に取り組めます。

また、持続可能な社会の実現に向けSDGs達成に向けて、従業員一人ひとりが取り組むことで、社会貢献活動を推進し地域社会との調和を目指します。

2022年4月には、人権尊重や法律・ルール遵守などを織り込んだ「行動指針」を制定しました。当社の従業員がその内容を遵守することで、企業コンプライアンスの強化を更に促進します。

そして、私たちは「マフラーの三五」から「環境の三五」へ変わることにより、自動車産業をはじめとしたすべての地域社会と調和し、お客様に着実に貢献するとともに、将来に向けた新たな事業の深化や技術変革を続けます。

お客様および取引先の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻の程、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 恒川 敬史

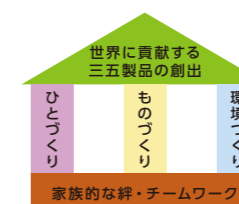
三五が取り組む12の目標



社是
三互の繁栄
私達の日本・私達の家・そして
私達の繁栄につとめましょう

基本理念

私達は変わることのない家族的な絆とチームワークで、ひとづくり・ものづくり・環境づくりを追求し、世界に貢献する三五製品の創出に挑戦し続けます。



長期2030

新しい三五グループを私たちの知恵と行動力で切り拓く

- ・ウキウキわくわくする挑戦を通じて従業員と会社が成長する企業グループ
- ・自動車以外へも新しい価値を提供し、安心安全な環境・暮らしを実現する企業グループ

中期経営計画2025

全体基本戦略	
経営方針	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業ごとの戦略立て直し ～排気事業の収益構造の改善とカバーする事業の強化～ ② 技術開発力の強化 ～強化すべき分野・技術へのリソース投入へ～ ③ 収益構造の改革 ～固定費の削減、事業&商品ミックスの適正化～ ④ 安全・品質を確保したもののづくり改革の推進 ～生産技術の進化～ ⑤ 人材育成と職場力の強化 ～人事制度の見直し 職場風土改善～
2025年に向けた強化項目	

CONTENTS

社長メッセージ	01
経営方針	02
持続可能な社会の実現に向けたアプローチ	03-04
持続的に成長する企業へ	05-06
目指す会社像に向けた取り組み	
・事例1 建築分野向け配管システム「FP35」の事業化	07
・事例2 電動化に向けた三五の開発	08
未来トーク 三五の未来は私たちが拓く	09-10
環境長期ビジョン 三五環境チャレンジ2050	11-12
ESG報告	
・環境	13-14
・社会	15-20
・ガバナンス	21-22
会社概要	23-24
製品紹介	25
数字で見る三五	26



持続可能な社会の実現に向けたアプローチ

私たち三五グループは、2050年の地球環境を見据えて経済成長と地球環境保全の両立を図り持続可能な社会の実現に貢献するために、2017年に「三五環境チャレンジ2050」を策定し、「生産現場の環境づくり」「製品を通じた環境づくり」そして「森づくり」を通して、現在のカーボンニュートラルの動きにつながるCO₂ミニマム化に向けた取り組みを行ってきました。2018年には利益追求のみならず、社会的課題の解決にも貢献する企業として企業価値を高めるため、「CSR方針」を策定しました。当社のCSR方針は、E(環境)、S(社会)、G(ガバナンス)を3つの柱として、従業員、仕入先様、お客様、地域社会とともに持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行っています。

そして今、国際的な目標であるSDGs(持続可能な開発目標)と自社の取り組みを関連づけて「環境の三五」への進化を目指し、世界から必要とされる企業に成長していきます。



I 三五の社会的責任 (CSR)



I 三五が取り組む持続可能な開発目標 (SDGs)

当社では社会的責任を果たすため、環境・社会・ガバナンスを柱として取り組んできました。2021年には国際目標であるSDGsの17の目標と、私たちが取り組む業務や活動を関連づけて、12の重要テーマを定めました。社内におけるSDGsの浸透を進め、社員一人ひとりがより良い未来に向けてできることを実践する、社会から必要とされる企業を目指していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

三五SDGs 取り組み方針

私たちは、三五基本理念に基づき地球環境に配慮し、地域社会との調和を目指す企業として自らの成長を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。

重要テーマ

- 多様性を尊重した企業風土と社会ルールの遵守
- ものづくりの責任と環境への配慮

三五が取り組む12の目標

- 3** 3 すべての人に健康と福祉を
 - ・新型コロナウイルス感染症への取り組み
 - ・通勤途上、業務上交通事故防止活動
 - ・排ガス規制・騒音規制に対応した製品開発
- 4** 4 質の高い教育をみんなに
 - ・職位別、選抜、職種別教育の実施
 - ・技術系基礎教育、エキスパート教育の実施
 - ・技能検定による技能の継承
- 5** 5 ジェンダー平等を実現しよう
 - ・男女平等な業務責任
- 6** 6 安全な水とトイレを世界中に
 - ・排水処理による排水浄化、化学物質管理、揮発性有機化合物の削減
 - ・工場排水、廃液処理装置の設置支援・基準決め
 - ・設備冷却水の再利用
- 7** 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 - ・消費電力の少ない生産設備の設置
 - ・排ガス規制・燃費規制に対応した製品開発
 - ・再生可能エネルギーの利用促進
- 8** 8 働きがいも経済成長も
 - ・安全・安心な労働環境の促進
 - ・障がい者雇用の促進
- 10** 10 人や国の不平等をなくそう
 - ・シニア人材の活躍促進
 - ・定期的な賃金改定と見直しの実施
- 11** 11 住み続けられるまちづくりを
 - ・排ガス規制・騒音規制に対応した製品開発
 - ・三五環境チャレンジ達成に向けた活動
 - ・品質改善活動により、不良、廃却低減
- 12** 12 つくる責任 つかう責任
 - ・排ガス規制に対応した製品開発
 - ・歩留まり向上、生産性改善によるCO₂削減
 - ・ISO14001 環境側面抽出とリスク低減
- 13** 13 気候変動に具体的な対策を
 - ・部品軽量化、省エネ設備の導入
 - ・生産性向上によるCO₂排出量低減
 - ・グリーン調達ガイドラインの展開
- 15** 15 陸の豊かさも守ろう
 - ・植樹活動
 - ・特定外来生物駆除活動
 - ・自然と共生する工場づくり
- 16** 16 平和と公正をすべての人に
 - ・行動指針の制定、周知、コンプラ啓蒙活動、内部通報制度
 - ・各種法令遵守と専門家による監査

本誌は、環境・社会・ガバナンス(ESG)を含めたCSR活動、SDGsやカーボンニュートラルにつながる事業活動と従業員の取り組みについて、総合的に編集した冊子です。三五の会社状況と目指す方向性や課題に対する姿勢について正しく分かりやすく伝え、ステークホルダーの皆様にも、三五の考え方や活動に共感していただくため、これからも情報開示に努めていきます。

持続的に成長する企業へ

「マフラーの三五」から「環境の三五」へ

カーボンニュートラルなどの社会的な課題に対して、当社は持続的な成長を図るため、2050年に向けて「マフラーの三五」から「環境の三五」への変革を目指します。

当社は2021年6月に、2050年で三五が目指す会社像を明文化しました。得意とする触媒コンバータ・ヒートコレクタ等の排気系部品製造や金属加工で培った「環境技術」と「ものづくりの力」を伸ばし、更にはEV（電気自動車）分野を含めた新たな分野へ挑戦していきます。企業活動を通してカーボンニュートラルやSDGsの達成にも貢献するとともに、人のための組織へ、魅力ある企業社会へと進化を遂げ、「環境の三五」の実現に向けて取り組んでいきます。

当社が目指すもの



- 01 ものづくりを通じた社会から必要とされる企業
- 02 持続的な経済活動ができる企業
- 03 働きがい(笑顔)ある企業

2021
CASE
100年に一度の大変革

マフラーの三五

世界的動向

社会からの要請 SDGs

三五の社会的責任 CSR

SDGsの導入

詳しくは P04を見てね

2025
電動化加速
ガソリン車減

収益構造の改革

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030
EVシフト
ガソリン車販売禁止

コア技術を活かしたビジネス展開

2050
脱炭素社会
CO₂排出実質ゼロ

環境ビジネスと技術の融合



持続的に成長する企業へ

長年培った三五の技術を活かして
環境を意識した製品の開発へ



環境チャレンジ2050で目指す会社像

環境の三五に向けて、ゼロエミッション(EV・FCV)を意識しつつ、ピュアエミッション(内燃機関車)も含めて、**環境を意識した製品の開発**を目指す

具体的な取り組み事例は何か
* P07-08に続く



未来トーク

自分が変わる
会社を変える

三五の未来は私たちが拓く

三五をどんな会社にしていくか、どうすればもっとわくわく仕事ができるか、各部署から集まった若手社員と役員が本音で熱く語り合いました。

玉村

坂野

坂田

近藤

山口



「環境の三五」って具体的には、 どういうこと??

近藤 「中期経営計画2025」には、「環境の三五」を目指すとなりました。実際にはどういう分野に取り組んでいこうとしているのでしょうか?

坂野 三五で「環境」というと、35万本という途方もない数を達成しようとしている「植樹活動」が思い浮かびます。現地で採取した種を苗木に育て、環境変化に耐性のある森をつくらうという活動で、以前から本気度がすごいいっていました。

玉村 三五はこれまで主力製品のマフラーで、排気ガスの浄化という点で環境分野に貢献してきました。しかしBEV車になったらマフラーは不要になってしまう。これからどんな分野を柱にしていくのかわかりたいです。

山口 環境分野に貢献する新たな製品開発はもちろんですが、自分は製造現場で働いているので、製造過程での環境配慮をどうするのが気になります。

坂田 三五は元々環境意識が高い会社で、SDGsやカーボンニュートラルが取り上げられる前からさまざまな取り組みを行ってきました。材料調達から設計、製造などのライフサイクル、製品の性能、生産活動の排出物、植樹やピオトープ活動、環境マネジメントシステムなど5つの分野で、CO₂排出のミニマム化などに取り組んでいます。今回あえて、「環境の三五」と言い出したのは、「マフラーの

三五」というイメージが定着している中、急速に電動化やカーボンニュートラルの機運が高まったりするなど、三五にとっては排気系ビジネスに逆風と見える状況になったから。むしろ将来に向けたビジネスチャンスととらえ、「環境技術」と「ものづくりの力」を伸ばし、さらにはEV分野を含めた新たな領域への挑戦など、環境技術をキーにした新しい製品軸を描き始めています。「環境の三五」は、環境という分野を通じて、社会や地域に貢献していこうという強い意志を表したということです。

山口 SDGsについては、三五はどんな風に取り組んでいくつもりですか?

坂田 SDGsは、分かりやすく言えば社会や地球に優しくということ。細分化して17の目標を定めることで、具体的なアクションにつなげるようにしています。社員の皆さんにも“自分ゴト化”して欲しくて、三五が会社全体でどの目標に注力していくか、各部署の重点方針とどの目標が関連するかを明確にして提示しました。時々、世界や会社がどの方向を向いているか確認して、自分の仕事と関連づけて欲しい。自分の立っている位置を理解し、将来に向けて自ら動くことが大切なのではないかと思います。

挑戦することで何が変わる?

山口 挑戦という点から考えると、現状は社員教育が画一的なのが気になります。安全などのベーシックな部分は全員に必須としても、自分でキャリアプランを描き、それに合わせて研修分野が選べるようになればいいと思います。

玉村 昨年、私は「未来創造プロジェクト」に参加しました。これは、2050年の三五のビジネスモデルを描くというプロジェクトで、今の三五にとらわれないこと、当事者意識を持って参加することが条件。若手25～35歳を対象に全社的に募集がかかり、自分も含め7人が選ばれました。約半年間メンバーと議論を重ね、紆余曲折を経て、2050年の一つのビジネスモデルとして、人の五感をセンシングして医療や快適な睡眠などにつなげていくサービスを提案しました。30年と長期間なので、いつまでに何をするか、ロードマップもつくりましたね。

坂田 「未来創造プロジェクト」の提案に対する私の評価は、「まだまだ」。(笑)なぜなら、既に類似する技術はあるし、2050年には発想がおとなし過ぎるから。ただ自ら手を挙げて挑戦した「内発的なモチベーション」は、会社の未来を変えていく力がある。プロジェクトに参加した経験は今後必ず役に立つと思います。

どうすれば、三五を変えていける??

坂野 以前会社規程の電子化に取り組みました。全従業員が紙で閲覧していた膨大な規程をデジタルで閲覧できるようにしたのですが、他部署との連携も必要で大変でした。しかし、苦勞した以上の評価を頂いて。こういう実感が変化への力になると思いました。

坂田 目の前の問題を解決するだけで会社が成長していた時代は、終わりました。「このままじゃ三五はダメになる。変わらないといけない。」こういう「正しい危機感」を多くの社員が持つことが三五を変えていく第一歩になります。

近藤 最近は三五でも男性も育児休暇を取る機会が増えてきたので、周りの目を気にせず気軽に取れる雰囲気づくりを行って欲しい。そういった職場環境なら、女性も今後働きやすくなると思います。

山口 私自身3人目が生まれたところで、育児休暇を取得しましたが、かなり上司、部下、同僚に助けられました。普段から部署を越えて業務の共有化を進め、育児を取る人がいるときは他部署に応援に来てもらうような制度があるといいと思います。そういうしなやかな組織の方が、社会の変化に対応していけるはずですよ。

坂田 育児などを取りやすくする制度の見直しも必要ですね。



*写真撮影のためマスクを外しています。所属部署は取材当時。

また、普段の業務の中で、周囲の方々と良い関係づくりができていことも大切です。会社としても人事制度や働き方についてより良い内容へ変えていきたいと思っています。

玉村 今の三五は、手を挙げた人が苦勞するような雰囲気があります。通常業務にプラスして新しいことに挑戦しようとする人が、周りからのサポートを頂ける雰囲気になれば、将来の三五がいきいきできると思う。

坂田 これから人事制度も大きく変えて、挑戦する人が評価されるようにしていきます。時代の変化に応じて、会社も変わっていかなくてはならないですね。

どんなことに挑戦していきたい??

玉村 自分は何でも積極的に挑戦して、やり遂げたいと思っています。会社の新規事業の開発に貢献したいし、それが叶えば自分も成長できると思っています。

坂野 まずはルーティンの仕事の効率化を進めたいです。日常業務に追いつけられている状態では、挑戦する余裕も生まれません。身近な業務を少しずつカイゼンしていくことから始めようと思っています。

近藤 今は子育てが大変な時期なので、身の丈にあった挑戦しかできないのですが。仕事がマンネリ化しないよう、新しいやり方を考えたり、違う視点を入れたい。常に前向きに取り組んでいきたいです。

山口 トヨタ生産方式を極めていきたい。特にリードタイム短縮のために、もっとデジタルを活用していきたいですね。

坂田 私は、未来の三五が生き残ることができるよう、事業全体を変えていきたいと思います。加えて、社員の皆さんが「内発的なモチベーション」を持てるよう会社の環境を整えていきます。右肩上がりに成長する時代は終わり、会社も個人も変化に対応していかななくてはなりません。大事なのは、社会から必要とされる会社になるということ。個人も同じで、会社や社会から存在価値を高められることが重要。皆さんはいずれリーダーになっていかれると思いますが、魅力的な人間であり続けて欲しい。そのためにも、仕事に加え、趣味や地域との関わりなど活動の枠を広げてさまざまな人と実際に関わることを大切にしたいです。

マフラーの三五から、環境の三五へ

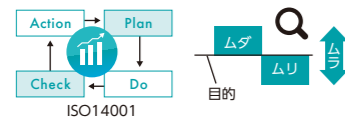
環境長期ビジョン"三五環境チャレンジ2050"

三五グループは、2017年より環境の長期ビジョンとして「三五環境チャレンジ2050」を策定しました。2050年の地球環境を見据えて経済成長と地球環境保全の両立を図り、持続可能な社会の実現に向けて、3つの価値を創造するために5つのチャレンジに取り組んでいます。



チャレンジ 5

環境マネジメントシステムを構築し、環境リスクを管理し、予防と継続的改善(運営・管理の強化)



チャレンジ 4

人と自然が共生する社会の実現に向けた生物多様性の保全、自然環境の保護活動の推進

- ・植樹活動・ピオトープ整備活動
- ・外来生物駆除活動



チャレンジ 1

材料調達から設計、製造、使用、廃棄・リサイクルまでのトータルで環境に配慮した事業の推進



チャレンジ 2

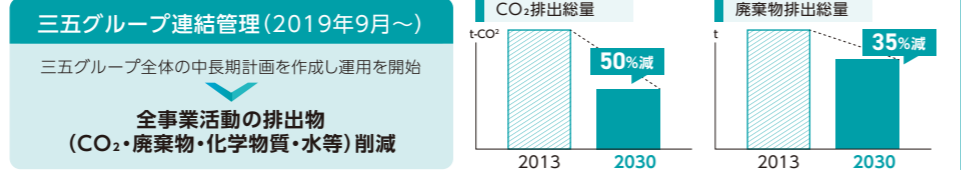
お客様の環境価値に貢献する、高付加価値な製品の開発・設計 → 燃費性能向上でCO2削減“貢献”
・排気熱利用 ・軽量化



排気熱回収器

チャレンジ 3

つくり方の改革を通じ、生産活動の排出物を削減するものづくり

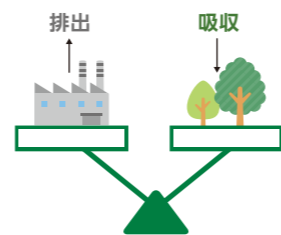


三五環境チャレンジ2050活動の推進でカーボンニュートラル達成を目指す

三五環境チャレンジ2050活動では、可能な限りCO2排出量を削減(ミニマム化)し、植樹等によりCO2吸収量を増やすことで、2050年にカーボンニュートラル*の達成を目指しています。

2021年度は、「第1次環境取り組みプラン」に示した目標や取り組み項目について全事業体の進捗状況をヒアリングし、一層の活動強化が必要という認識を共有しました。

2022年度は、カーボンニュートラル達成に向けて目標や取り組み項目を再議論し、中長期環境行動計画の第2弾となる「第2次環境取り組みプラン」の策定を進めています。



*カーボンニュートラルとは、CO2等の「排出」を減らし、排出せざるを得なかった分を「吸収」することで、差し引きゼロにすることです。

三五グループ 2022年目標 第1次環境取り組みプラン(中長期環境行動計画)抜粋

分類	「2050環境ビジョン」5つのチャレンジ	ビジネスリスク・チャンスへの取り組み項目	2021年度 実績(抜粋)	
環境貢献製品の市場拡大と創出	1. ライフサイクルCO2ミニマム化にチャレンジ	材料調達から設計、製造、使用、廃棄・リサイクルまでのトータルで環境に配慮した事業の推進	社外 環境関連表彰受賞 1件	
	2. 新車CO2ミニマム化にチャレンジ	お客様の環境価値に貢献する、高付加価値な製品の開発・設計	トップクラスの燃費性能に貢献する製品開発 各開発目標達成に向けて推進中(開発アイテム7件中、5件は年度目標達成、2件は開発休止/ノウハウは今後の開発に活用) 次世代自動車に対応した製品開発の推進 検討推進中アイテムでPJT化目処づけ1件	
事業活動による環境負荷の低減	3. 生産活動の排出物(CO2・廃棄物)ミニマム化にチャレンジ	つくり方の改革を通じ、生産活動の排出物を削減するものづくり	低CO2革新生産技術開発の推進	ライン生産性向上によるCO2削減: 例) ボディシエル ▲43% プレス品セット採りによるCO2削減: 例) ボディシエル ▲50%
			低排出物生産技術開発の推進	塗装ライン塗着率向上による廃棄物削減: 例) 排気管 ▲79% 超音波洗浄による廃棄物削減: 例) バッテリークランプ ▲33%
			日常生産活動(号口ライン、インフラ)におけるCO2排出量の削減	電力量 ▲109Mwh削減 新規ラインガス使用量把握 1件 老朽機器の更新 8件
			再生可能エネルギーの活用推進	2022年度導入に向け検討中
			日常生産活動における廃棄物排出量の削減	廃液浄化システムの本格的なトライ開始(2021年2月～)
			生産工程における水使用量、排出量の削減	漏れ調査の実施 3回 浄化水再利用の導入目処づけ
			環境負荷物質の管理、削減	禁止物質使用ゼロ
自然環境の保全	4. 自然共生社会の構築にチャレンジ	人と自然が共生する社会の実現に向けた生物多様性の保全、自然環境の保護活動の推進	CO2吸収・固定量*の拡大に向けた森づくり活動(目標35万本) *CO2吸収・固定量は当社計算式により算出したもので、植栽樹林が吸着したCO2に相当する	植樹累計実績 311,558本 累計CO2吸収固定量 523t
			社内ピオトープ整備による自然環境保全	本社、八和田山工場、三好工場、STEM(タイ)4か所のピオトープ整備による地域在来生物の生息域の創出、近隣の自然環境と生態系をつなぎ生息域の拡大・保護
事業活動による環境負荷の低減	5. 環境マネジメントシステムの構築にチャレンジ	連結環境マネジメント体制を構築し、環境リスクを管理し、予防と継続的改善(運営・管理の強化)	各国・各地域の環境法令順守と環境事故の未然防止活動	環境法令順守状況の定期チェック(2回/年)により是正・再発防止策実施済
			環境情報の積極的開示とコミュニケーションの充実	CDPサプライチェーンプログラム 気候変動[Bランク]・水[Bランク] 従業員への情報展開として環境展実施(1回/年)

環境製品開発小委員会の活動紹介 チャレンジ①&②



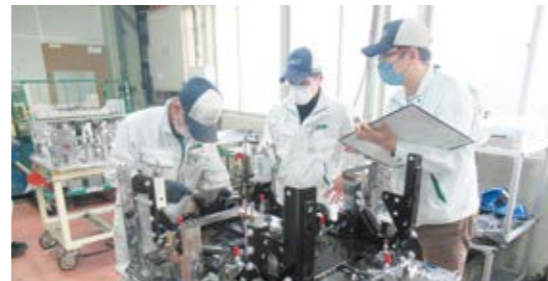
FCスタックフレーム開発

環境製品開発小委員会は、お客様の環境価値に貢献する、高付加価値な製品の開発・設計を行っています。今回開発した製品は、水素をエネルギー源とする燃料電池（FC）発電機の骨格フレーム（通称 スタックフレーム）です。新型MIRAIの燃料電池スタックの主要部品をひとまとめにして、商用車や鉄道、船舶、定置式などの用途に販売しています。

水素はCO₂を排出しないカーボンニュートラルエネルギーとして今後も利活用が期待されています。当社は、水素分野の新技术開発を推進しCO₂排出削減に貢献する製品を創出していきます。



FCスタックフレーム



開発の様子



技術戦略室 中野秀則(左)、加藤孝司(右)

部品の取り付け位置や溶接熱歪取り、建付けの矯正工程を設けて、1台ごと丁寧なものづくりを実践し精度を保証しています。



環境つくり方改革小委員会の活動紹介 チャレンジ①&③



サプライチェーン全体での環境負荷削減への取り組み

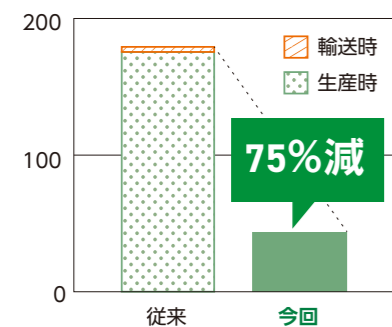
環境つくり方改革小委員会では、導入計画する新規生産設備に環境負荷削減アイテムを織り込むことで 設備の稼働に伴う自社工場から排出されるCO₂削減だけでなく、材料や輸送などを含めたサプライチェーン全体でのCO₂削減および廃棄物削減に取り組んでいます。

2021年度の取り組み事例の1つとして、自動車の駆動部品に使用される動力伝導シャフトの製造工程における活動があります。冷鍛加工前の潤滑処理を従来、県外の別工場にてポンプと呼ばれる化成被膜処理により行っていたものを、自社工場内での簡易的な一液潤滑に変更しました。その結果、輸送時および生産時のCO₂削減と廃棄物である汚泥、廃液の削減が可能となり、サプライチェーン全体での環境負荷削減に貢献することができました。

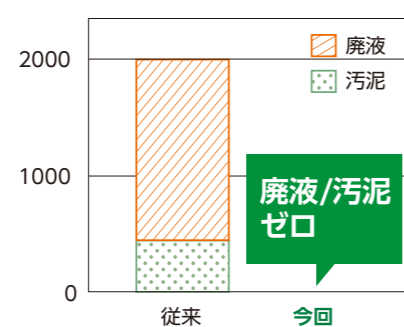


動力伝導シャフト(上:材料、下:製品)

CO₂排出削減量(ton/年間)



廃棄物排出削減量(kg/年間)



精鋼技術室 山田貴大(左)、曾根洋司(右)

今後も、生産活動の排出物(CO₂・廃棄物)のミニマム化を進め、環境負荷低減をしていきます。



環境負荷削減小委員会の活動紹介 チャレンジ①&③



切り電活動、エアリー漏れ対策でカーボンニュートラルへ寄与

2020年10月に日本政府が発表したカーボンニュートラル宣言は、三五にとっても例外でなく、2050年までにCO₂排出実質ゼロの高い目標を目指して活動をしなくてはなりません。そこで、三五では徹底的な省エネとしてムダ取り活動をしています。特に、①切り電(非稼働時の電源切り)活動と②エアリー漏れ対策(エアリーコンプレッサーの効率化)活動を推進しています。2021年度の活動では、従業員一人ひとりの取り組みの結果、切り電で5%、エアリーコンプレッサーで5%のCO₂削減効果が出ました。

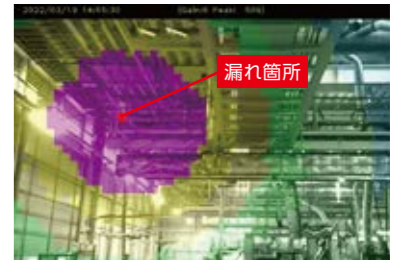


工場統括部 TPM推進室 PE-CN推進G 堂崎 徹

休み時間の油圧ポンプやコンベア、人がいない箇所の送風機や排気ファンの電源を切るなどして、更なる省エネが可能です。今後も全員参加でムダ取り活動をし、カーボンニュートラルを目指していきます。



『音カメラ』で高所等見つけにくい箇所のエアリー漏れ発見



測定データ	年月日	2022年3月19日
漏れていた気体	圧縮エアリー	
漏れ量(L/分)	3.33	

自然共生小委員会の活動紹介 チャレンジ①&④

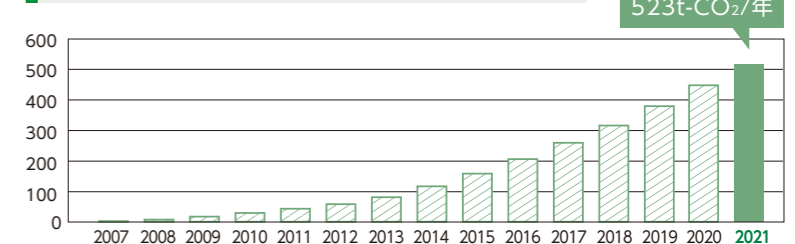


三五の森づくりで31万本植樹を達成

三五グループでは2006年から工場、国内・海外事業体で森づくりを実施しています。国内外の各工場や地域でその場所に合った土地本来の樹種を植えています。毎年従業員の手で苗木を植え、2021年には累計植樹本数が31万本を超えました。

自社敷地内の他、地元行政や工業団地と連携して植樹を行っている地域もあり、森づくりの輪が社外にも広がっています。森をつくることで木が二酸化炭素(CO₂)を吸収固定し、地球温暖化を食い止める一端を担っています。三五はこれからも森づくりを継続し、地球の緑を増やして生物多様性やCO₂削減に貢献していきます。

森づくり活動による累計CO₂吸収・固定量(t-CO₂/年)



2006年、ECO35(現 三五本社) 植樹祭



上空から見た現在の植樹地の様子

自然共生小委員会の活動紹介 チャレンジ①&④



ビオトープ顕彰 協会会長特別賞受賞

日本ビオトープ協会主催の第12・13回ビオトープ顕彰で、ECO35のビオトープが協会会長特別賞を受賞しました。「都心の中に自然豊かな森・池・田んぼなどの里山風景を取り戻す」をコンセプトに、ハイケバタルなど県内の希少種・絶滅危惧種の生育環境をつくり保全するビオトープであるとともに、田植えや稲刈り収穫など都会の小学生を対象に体験的な環境教育の場を提供していることが高く評価され、全国の事例の中から選抜された6件の1つに選定されました。工場跡地を利用し、生物が何もない場所から自然環境を創出してきた活動です。これからも、「環境の三五」として生物多様性の保全、自然と共生する社会を目指した活動を行っていきます。



ハイケバタルが自生するビオトープ(三五本社)

Ⅰ 三五教育体系:多彩な教育制度を通して一層のビジネススキルの向上へ

新入社員から管理職まで、各職位ごとに求められる能力を学ぶ基礎研修を通して職場の第一線で活躍できる人材育成を行っています。

また、公的資格の取得、通信教育など自己啓発の支援の他に、選抜者に対する教育を実施しています。

職位	職位別教育(集合研修、リモート研修)	自己啓発	選抜教育
管理職	・幹部職/基幹職研修 ・コミュニケーション研修 ・CSR/コンプライアンス		選抜候補 幹部候補
係長職	・新任役職者研修 ・OJT実践講座 ・メンタルマネジメント研修 ・QCリーダー研修		トヨタ系企業 海外トレーニー
中堅社員	・中堅社員研修 ・リーダーシップ研修 ・TPS研修 ・QC入門研修	公的資格取得 通信教育 国家技能検定	
一般社員	・TPS入門研修 ・QC入門研修		
新入社員	・新入社員研修 ・論理的思考・表現基礎研修 ・仕事の段取り研修 ・ビジネスマナー研修		

Ⅰ 育児・介護と仕事の両立支援制度

当社では、従業員の多様性に合わせて仕事と育児や介護の両立や再入社の支援制度を設けています。また、これら制度が使いやすい職場環境の提供を目指しています。

三五の育児支援制度

【妊娠休業】対象:妊娠中の女性従業員
期間:産前休業までを限度とし、会社に認められた連続した1カ月以上

【育児休業】2歳まで

【面談制度】妊娠から職場復帰までの間に3回の面談で妊娠中に配慮してほしいことや職場復帰後の業務内容の確認などを行い、妊娠期と子育て期の両立支援を目指します

【育児短時間勤務】小学校3年生修了まで
①所定労働時間の短縮(1日の所定労働時間を5時間、6時間、7時間から選択)
②フレックスタイム制の適用
③時間外勤務、時差勤務および休日勤務の免除(ただし①と②はどちらか一方の選択となります)

【看護休暇】小学校4年生修了まで
子が1人であれば5日/年、子が2人以上であれば10日/年(1日または時間単位での取得)

三五の介護支援制度

【介護休業】通算730日

【介護短時間勤務】下記①と②は利用開始から3年間(また①と②はどちらか一方の選択となります)
①所定労働時間の短縮(1日の所定労働時間を5時間、6時間、7時間から選択)
②フレックスタイム制の適用
③時間外勤務、時差勤務および休日勤務の免除

【介護休暇】要介護状態の対象家族が1人であれば5日/年、2人以上であれば10日/年(1日または時間単位での取得)

その他制度

【カムバック制度】「配偶者の転勤」もしくは「介護」にて退職した従業員が、再度就労できる状態になった際に再入社することができる制度

Ⅰ 在宅勤務制度

新型コロナウイルスが感染拡大する中、職場内での接触機会を減らし、感染リスクを低減するため、2020年5月より在宅勤務制度の運用を開始しました。運用開始当初は、在宅でできる業務が限定されたり、上司や同僚とのコミュニケーションに課題があったりなど、「在宅勤務では業務を進めづらい」という声がありました。その後、社内サーバーにアクセスできるシステムやTeamsを導入したことで、パソコンを扱う業務においては社内と変わらない環境で業務を進められるようになってきました。

VOICE 人事労務室 小川秀明

感染症が収束後も見据えた制度の改善と働きやすい職場づくりを進めていきます。

Ⅰ 働きやすい職場づくりで中部ニューオフィス奨励賞を受賞

当社の技術開発拠点の1つ豊田技術センターを、創造性を活性化できるオフィス環境に改築しました。内階段やデジタルサイネージ、オープン会議スペースなどを設置して、積極的にコミュニケーションが取れる環境をつくっています。



豊田技術センターR棟

この働き方改革への取り組みが今後のオフィス環境の整備の模範と認められ、快適かつ機能的なオフィスづくりの普及・促進を行っているニューオフィス推進協会から「中部ニューオフィス奨励賞」を受賞しました。引き続き、働き方改革を推進していきます。

Ⅰ 工場における安全教育

2021年度に各工場の「安全道場」をリニューアルしました。安全道場では過去の重大災害や工場で発生した災害事例等を展示して災害防止のポイントを分かり易く説明し、全従業員の一層の安全意識向上を図っています(累計参加者数2,732名)。また、体感機を用いて災害疑似体験もできます。災害の「怖さ」を知り、従業員の行動意識を高めることにつなげています。今後も、三五全体で「ゼロ災害」を目指していきます。



Ⅰ 健康経営優良法人2022認定

当社は「健康な心と身体はすべての原点」という三五健康宣言の下、従業員の健康保持・増進を目的に健康経営活動に取り組んでいます。

2021年12月からは健康相談室を開設してメンタルヘルスへの取り組みも行っています。各工場に常駐している保健師・看護師が「こころ」や「からだ」に不調・不安を感じる従業員の健康相談のサポートを行う体制を整えました。こころの健康に加えて職場の課題にも幅広く対応することを目的として、産業カウンセラーの資格を取得したスタッフ2名も安全健康部に在籍しています。これらの取り組みが評価され、2022年も経済産業省から健康経営優良法人の認定をいただきました。

健康相談室の数	7カ所
相談員数(内産業カウンセラー)	8名 2名



VOICE 安全健康推進室健康推進G 青山哲也

従業員と職場の健康づくりを通して三五の発展に貢献できるよう、今後も健康経営を推進していきます。

Ⅰ 新型コロナウイルスへの対応 抗原検査キット活用

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、流行当初から独自のガイドラインを策定し、改訂を繰り返しながら感染対策を実践しています。また、全従業員に対して毎月マスクを配布しており、2020年9月からは



2021年9月、導入開始

ものづくりの技術力を活かしてマスクを自社生産しています。2021年度には、従業員の安全確保と感染拡大防止を目的として、抗原検査キットによる社内検査を開始しました。業務中に陽性者と接触した従業員に対して積極的に検査を実施して、本人やご家族への不安軽減と安全確保に努めています。まん延防止等重点措置発令時には、やむを得ない理由で出張する全従業員にも抗原検査キットを配布し、出張前と出張後に検査することで感染拡大防止策としました。引き続き感染予防を推進していきます。

VOICE 安全健康推進室 健康推進G 伊藤文華

従業員とご家族の皆様のご協力により、生産活動に影響の出るような社内感染は防止できています。ご理解ありがとうございます。

Ⅰ フィットネスルームを新設

福田工場の新建屋「フォレスト35」の1階に、フィットネスルームを新設しました。トレッドミルや各種筋力器具の他に、コアトレチェアやダイエット



3工場に身体を動かす設備を設置

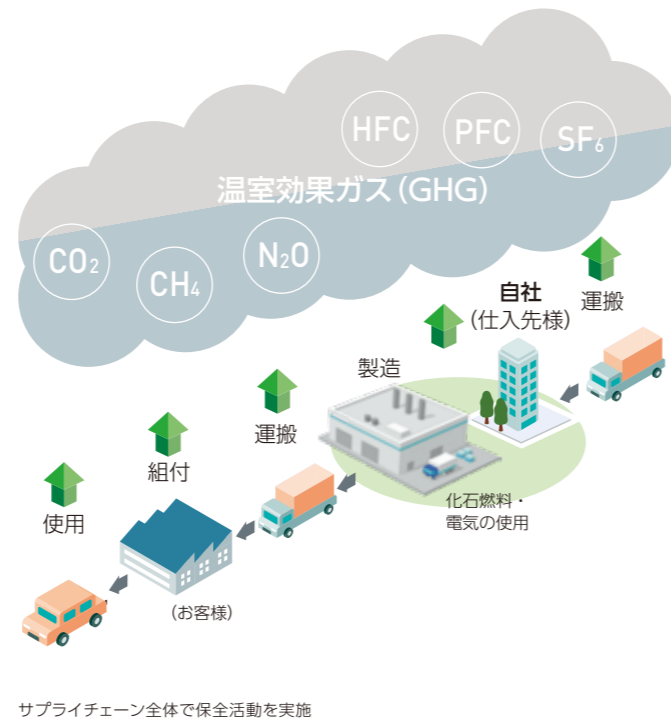
トレーナーコアといった女性から人気の高い器具も設置しています。ストレッチスペースも広く設計しており、備え付けのストレッチポールやグリッドローラーを使用した本格的なストレッチも可能です。更衣室・シャワー室も完備され、本格的な施設となっています。当社では、従業員が自由に利用できるフィットネスルームや身体を動かす施設を3カ所設けています。

VOICE 安全健康推進室 堂崎義人

安全・安心な職場づくりの他にも、従業員のストレス軽減、健康な身体づくりを目的とした活動を推進しています。

Ⅰ 三五グループグリーン調達ガイドラインの推進

環境問題の深刻化は企業にとって新たなリスクとなります。当社では環境にやさしい部品・資材等の調達を積極的に推進し、環境保全の向上を図る取り組みとして2018年より「三五グループグリーン調達ガイドライン」を発行し仕入先様との環境経営を促進してきました。これからもサプライチェーン全体で保全活動を実施し、持続的な環境保全活動を進めていきます。



仕入先様への依頼事項

- 1 環境マネジメントシステムの構築
- 2 温室効果ガス (GHG) の削減
- 3 水環境インパクトの削減
- 4 資源循環の推進
- 5 化学物質の管理*
- 6 自然共生社会の構築

※「5.化学物質の管理」は「必須」で最も重要な項目

Ⅰ 仕入先様と一体となった感染症予防

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、調達部より仕入先各社様へ、当社の活動内容の紹介や対策強化項目を情報共有して、感染だけでなく濃厚接触者の増加を防ぐお願いも行ってきました。更なる対策強化のため、対策実施のアンケート調査を行い、調達部と安全健康部が連携して各社を訪問させていただき現地確認も行っています。仕入先様と一緒に感染拡大防止に取り組んでいます。

- アンケート実施 取引先数 52社
- 感染予防策調達発出数 12件 (2020年3月~2022年3月)

Ⅰ ISO9001を通じた業務品質向上

当社では2019年5月からISO9001認証取得活動を開始し、2021年6月に認証取得をしました。活動スタート時より、「仕事のレベルアップ、業務の革新に繋げる!」という社長メッセージに沿って、認証取得だけを目的とせず、会社全体の業務品質向上を掲げて活動を進めています。代表的な活動として「ISO9001全社周知教育」があります。教育を通して、①ルール順守と②継続的改善が業務品質の向上につながることを全従業員に伝えていきます。その具体的な活動として行っている「現場での不整合是正活動」では、作業要領書等で決められたルール通りに作業を行ない、やりにくい点があれば改善することを各工場で実施しています。結果、2022年3月の定期審査では、審査員より評価を得ました。



2022年3月、定期審査の様子



VOICE

環境・認証室
ISO認証G
原田実鈴

引き続き、業務品質向上につながる仕掛けを進めていきます。



Ⅰ 三五のマスクがJIS適合審査に合格

2020年、深刻なマスク不足の中立ち上がったSANGOマスクプロジェクト。当初は従業員向けにつくり始めたマスクですが、2021年12月にはJIS T 9001*「医療用・クラスII」と「一般用」に適合し、社外への販路拡大が始まっています。当社は今後も、新製品開発と販売に力を入れていきます。

※JIS T9001は2021年6月に制定されたマスクの品質や性能に関する公的規格



SANGOマスク



2021年9月、量産開始した自前のマスク生産ライン(三五技術研究所)

Ⅰ 3年連続のトリプル受賞

トヨタ・キルロスカ・モーター (TKM) より「QUALITY賞」「Zero Defect Supplies賞」「DELIVERY賞」の3つの賞を三五インド (SIAP) が3年連続で受賞しました。社内での徹底した品質チェックと、標準的な作業手順に従った仕組みで、納入不良0と納入遅延0の実現ができ、今回の受賞となりました。今後も安全第一、顧客満足を第一に取り組んでいきます。



Ⅰ 三重県教育委員会より感謝状を受領

三五いなべ工場では、2019年度から就職希望の高校2・3年生を対象としたデュアルシステム*企業実習の受け入れをしています。その活動が評価され、この度、三重県教育委員会より感謝状が贈呈されました。実習では、生産の実体験、製品の測定体験、機械修繕といった仕事を体験してもらうことで、高校生の勤労観や職業観の育成を支援しています。

※学校での座学と企業での実習を組み合わせる教育システム



Ⅰ お客様からの品質表彰

タイ日産自動車より「ASEAN Regional Quality Award」を受賞しました。この賞はアセアン地域において品質が優秀な10社に贈られ、三五タイ (STEM) はエンジン&ドライブ部門で選出されました。最優秀企業に贈られるトロフィーも頂きました。今後もお客様に良品をお届けすべく、チーム一丸となり、更なる品質向上に努めていきます。



2021年7月、受賞時の記念撮影

Ⅰ 2021年度の技術開発・品質管理に関する主な表彰実績

- 三五
 - トヨタ自動車 CE特別賞、品質管理優秀賞 ほか
 - ダイハツ工業 VE活動賞
- 三五北海道
 - トヨタ自動車北海道 ダントツ品質賞
- 三福
 - 九愛会 品質優良賞
- ASCI(カナダ)
 - TMNA Excellent Qualityアワード
- GSC(広州)
 - 東風日産乗用車公司 年間最優秀購買パートナー賞
 - GTMC 特別VA推進賞
 - TMCAP 品質達成賞
- STI(トルコ)
 - TME Supply Achievementアワード、Project Management Achievement アワード ほか

海洋プラスチック清掃活動へ参加



当社は地域や他企業と連携して社会貢献活動に参加しています。広州三五(GSC)は中国オールトヨタ自然共生WGに賛同して海洋プラスチックごみ清掃活動に参加しました。



2021年10月、活動実施

広東省深圳市にある海辺でゴミ清掃を実施し、参加者32名で海辺および海底から20.4kgの海洋プラスチックごみを回収しました。海洋プラスチックごみの発生源は私たちの生活と産業によるもので、深刻な海洋破壊を起こしています。海洋保護が切実な状況にあることを強く意識し、地域や他社との交流の中で活動を継続していきます。

エコキャップ回収活動



ペットボトルのキャップを分別回収することにより、焼却によるCO₂の発生を抑制し、環境改善と再資源化を促進します。またキャップの売却利益で世界中の子どもたちにワクチンを届けることにつながる活動です。

当社では、2009年より各工場に回収ボックスを設置してペットボトルの蓋(エコキャップ)の回収活動を行っています。

2021年には、累計100万個を達成しました。これは、1,189人分のポリオワクチン、7,590KgのCO₂削減に換算できます。従業員一人ひとりのひと手間が、SDGsに結び付いています。これからも、この活動を推進していきます。



エコキャップ回収ボックス (福田工場)

下妻市にマスク・足踏み式アルコールスタンドを寄贈



東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に際し、三五関東がある茨城県下妻市がアフリカのブルンジ共和国選手団のホストタウンになり



2021年7月、下妻市 菊池市長へ贈呈

ました。支援のため、三五製マスク1万枚と五輪カラーに着色した自社製の足踏み式アルコールスタンド「消毒くん」5台を寄贈しました。残念ながら事前キャンプは中止となってしまいましたが、寄贈品は市の感染症拡大防止に活用されています。

タイの病院へ衛生・洗面用具他物資を寄付



新型コロナウイルスの感染拡大により、当社の海外拠点がある地域も深刻な影響を受けています。三五タイ(STEM)は、地元のチャチュンサオ県が感染者数の増加により野戦病院を設置



2021年8月、県知事へ物資を贈呈

することになった知らせを受け、衛生用品・洗面用具などを寄付しました。会社と組合が共同で県知事に直接物資を贈呈すると、県知事からは感謝のお言葉を頂きました。新型コロナウイルスの早期収束に向け、社内での感染防止対策を継続するとともに、今後も行政との連携を図り、地域社会の貢献活動に取り組んでいきます。

東日本大震災復興支援で10年間苗木を寄贈



東日本大震災で津波の被害を受けた宮城県岩沼市では、海岸沿いに「森の防潮堤」をつくる活動がありました。当社は、この活動を支援するため、10年間で、累計24,032本の苗木を送っています。東北で採った種を、三五従業員が各工場苗木になるまでに育て、岩沼市の植樹祭へ出荷してきました。

毎年岩沼市の植樹祭にも参加しました。2021年には仙台空港から新浜公園までの11kmが森の防潮堤で結ばれました。小高い丘に植えた30cmほどの苗木がやがて森になると、木々は防潮堤として機能し、万が一津波が来た時にはその威力を減衰し、人や物の流出を防ぐ役割を果たします。活動の主催者 一般社団法人森の防潮堤協会 日置道隆会長からは、「植樹祭の初期より支援いただき、長い間、苗木の提供とともに活動いただいたことに感謝している」とのコメントが届いています。



2014年5月、岩沼市の植樹祭にて

三五グループ行動指針を策定



◆三五グループ行動指針策定の経緯

三五グループは、2012年に、「三五グループに働く人間として、どのような価値観を共有し、どのような行動を取るべきか」をいう行動原則として、SANGO WAYを策定しました。SANGO WAYは、国内外事業体で構成される三五グループ全体が同じ方向に進み、その力を存分に発揮していくうえで、行動の背景となるもの(価値判断する際のよりどころ)です。

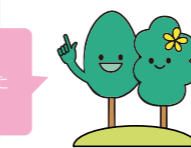
この度策定した三五グループ行動指針は、業務上の判断だけでなく、「人権の尊重・ルールへの遵守」などといった会社生活、社会生活、日常生活において具体的に、従業員一人ひとりがどう行動するかを示すものです。CSR委員会を通してその内容が議論され、2022年3月の方針発表会での発表をもって策定に至りました。

◆三五グループ行動指針の位置づけ

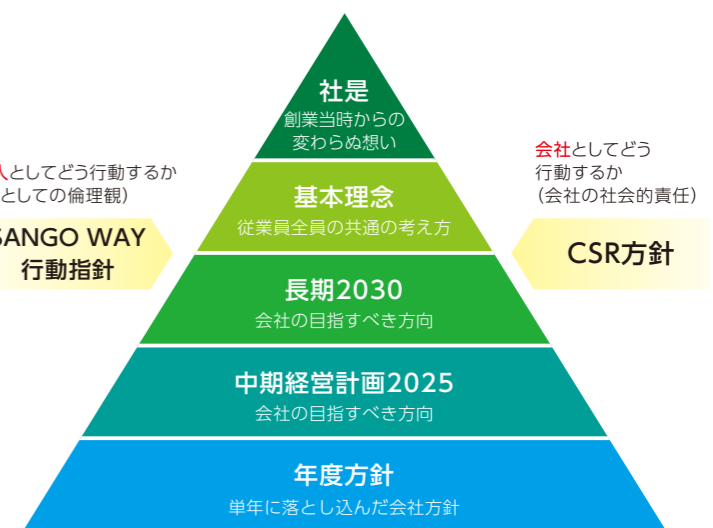
三五グループの全従業員が

毎日の生活(会社生活、社会生活、日常生活)で具体的に行動するうえで私たち一人ひとりが「規範・羅針盤とすべき基本的な針および具体的な留意点」を共有できるようにする

ポイント
既存の「SANGO WAY」との違いは、仕事以外の社会生活、日常生活も含めた行動指針であることです



個人としてどう行動するか(人としての倫理観)
仕事にまつわる指針 → SANGO WAY
社会人としての指針 → 行動指針



◆三五グループ行動指針

- 1 人権尊重
- 2 法律・ルールへの遵守
- 3 安全衛生
- 4 会社資産の保護
- 5 情報の適正管理と公開の透明性、説明責任
- 6 公平・公正な関係
- 7 環境保護と社会貢献活動
- 8 各国の文化・慣習を尊重した運営

1. 人権尊重

私たちは、人権を尊重し、差別や表現に配慮します。また、節度ある宗教活動を理解し、信仰の自由を尊重します。

2. 法律・ルールへの遵守

私たちは、三五グループの一員として社会的良識に則って行動し、法令や会社規程、方針を遵守し、自己の職務に専念します。

3. 安全衛生

私たちは、日頃からより良い生活習慣を心掛け、心身の健康増進・疾病予防に努め、誰もが安心・安全で快適に働けるよう、安全確保を最優先します。また、交通ルールを遵守し、思いやりのある運転を心がけます。

4. 会社資産の保護

私たちは、会社の資産、知的財産を保護し、第三者の知的財産に関してはその権利を侵害しません。

5. 情報の適正管理と公開の透明性、説明責任

私たちは、お客様情報や個人情報の取扱いに細心の注意を払い、適正に保護するとともに、お客さま、他の従業員、地域社会等の関係者に対し、企業活動に係る情報を公正性と透明性をもって、適時・適切に開示します。

6. 公平・公正な関係

私たちは、お客様、仕入先様と公平・公正な取引に努めるとともに、強固な信頼関係を築き、共存共栄を図っていきます。

7. 環境保護と社会貢献活動

私たちは、脱炭素社会の実現に向け環境に配慮した製品を開発し、あわせてリサイクル・省資源・省エネルギーの推進に努めるとともに、自然環境の保全と地域社会への貢献を会社一体となって行動します。

8. 各国の文化・慣習を尊重した運営

私たちは、各国で事業を行うにあたり、各地域の文化や慣習を尊重し、地域の発展に貢献します。

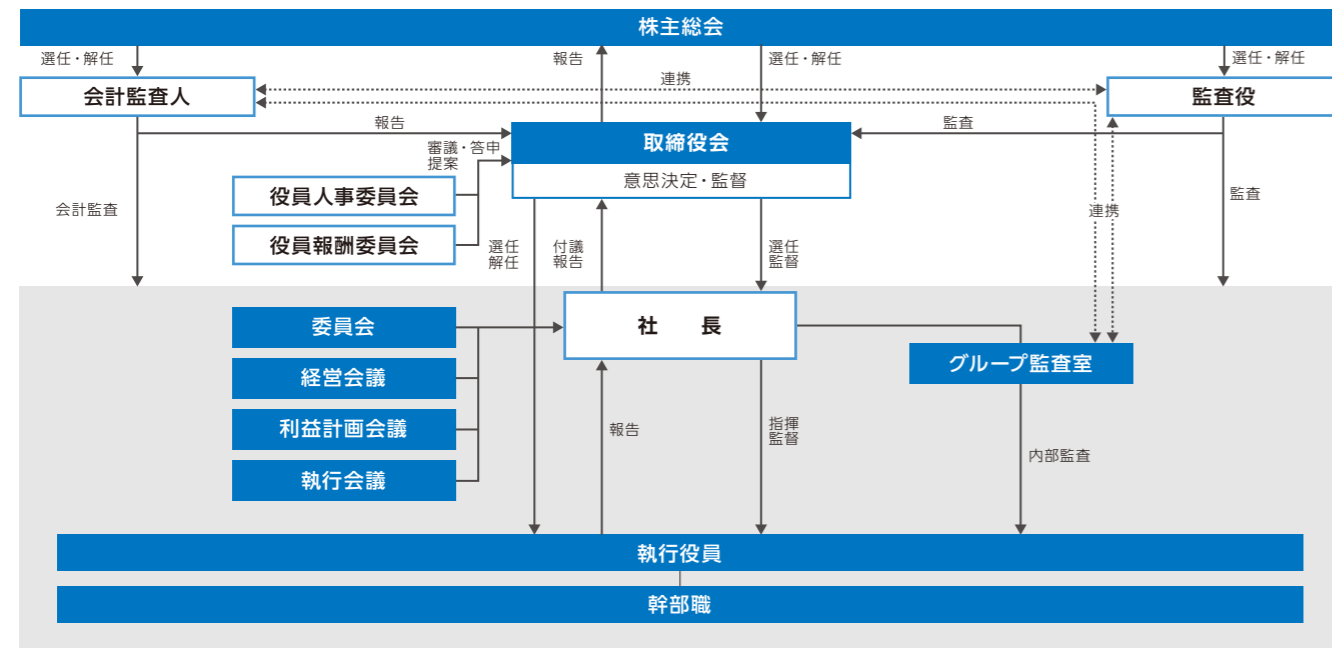
◆三五グループ行動指針の理解浸透

- 全従業員にリーフレットを配布しています。中には8つの項目の具体的な内容が書いてあり、一人ひとりが理解を深められるようになっています。
- 今後は従業員教育を行って更なる理解浸透を進めていきます。
- 三五グループでは個々の行動の規範として活用しますが、ビジネスパートナーにも同様の基準の遵守が期待されます。

ガバナンス ESG Governance

コーポレート・ガバナンス体制

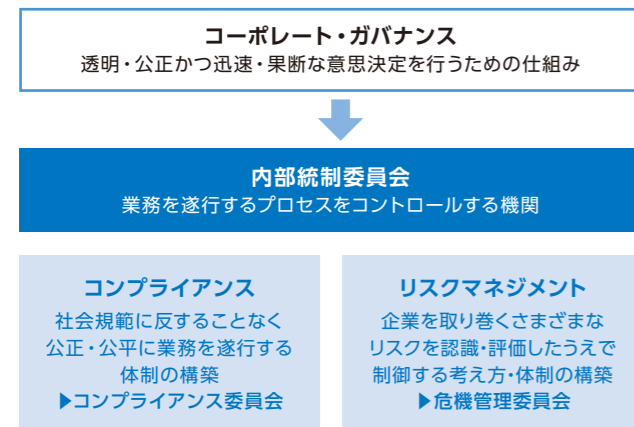
当社は従業員をはじめ、株主・お客様・仕入様・地域社会などさまざまなステークホルダーを意識した、透明・公正かつ迅速・果断な意思決定ができるよう、下図のとおりコーポレート・ガバナンス体制を構築しています。



最高経営意思決定機関である取締役会の構成は社外取締役3名を含む8名とし、法令に定められた事項や経営に関わる重要事項の決定、取締役の監督機関として位置づけています。一方で公正・独立の立場から社外監査役を含めた、監査役が取締役の職務執行、経営の監査を行う体制を構築しています。

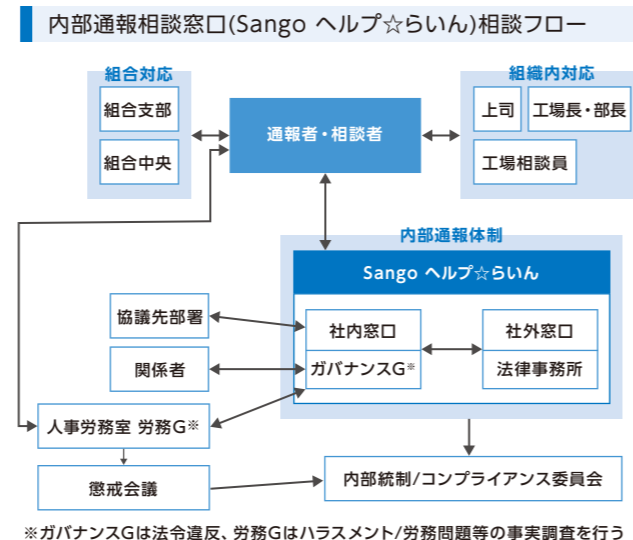
内部統制委員会

当社はコーポレート・ガバナンスの仕組みに従い、組織における業務の適正を確保するための内部統制システムの基本に沿って、コンプライアンス、リスクマネジメントの取り組みを内部統制委員会にて推進しています。



内部通報制度

当社は不正行為の未然防止、早期発見および是正を図り、コンプライアンス体制を強化することを目的として、内部通報相談窓口(Sangoヘルプ☆らいん)を設置・運用しています。



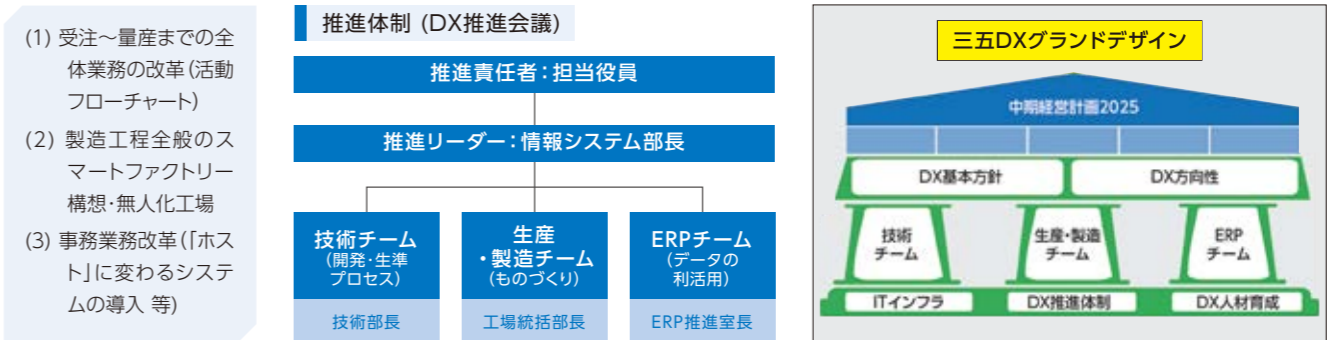
コンプライアンス啓発活動

グループ方針である「風通しのよい元気な職場づくりに努め、法令遵守とマネジメント改革を推進する」を受け、年間を通して従業員のコンプライアンス意識の向上に努めました。2021年度初めての取り組みとしては、推進月間に動画で社長メッセージを配信し、トップの声で、コンプライアンス遵守への会社の強い決意を伝えました。また、社内外で実際に起きた事案を基に作成した朝礼トピックスやKYT(危険予知訓練)活動を毎月実施することで、コンプライアンス問題について考え、話し合える環境づくりを推進しています。今後も従業員一人ひとりが自分ごととして意識できる啓発活動を継続していきます。



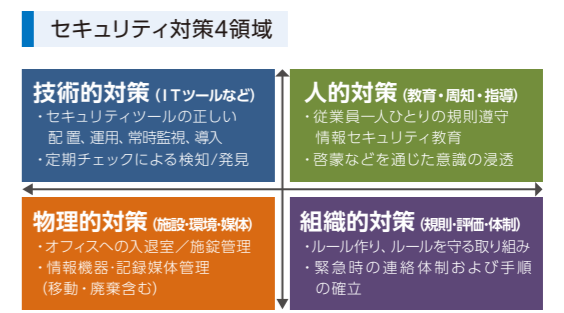
三五が目指すDX

当社では2018年からノートPCや無線LAN等の導入を通して、工場内やオフィスでの生産性向上やワークライフバランスの実現に向けた取り組みを行ってきました。今後は、持続的な企業成長を図ることを目的に、データとデジタル技術を活用して、収益の改善、他社優位性の確保をし、以下3つの取り組みを進めていきます。



情報セキュリティ対策への取り組み

近年業務のデジタル化やDXを推進する中でサイバー攻撃リスク、情報漏洩リスクは確実に増大しており重要な経営課題と受け止めています。また、情報セキュリティはお客様をはじめとした全てのステークホルダーの皆様との信頼関係を支えるための重要な基盤と位置づけ、「情報セキュリティ基本方針」に基づいたセキュリティ対策4領域の継続的な改善活動により情報セキュリティの維持強化に取り組んでいます。具体的には全従業員を対象にした毎年のセキュリティ教育や日々の啓蒙活動と必要な対策ツールの導入などを進めることで、三五グループ全体で情報セキュリティ管理のレベルアップを着実に実施しています。



会社概要



概要

商号	株式会社 三五
代表者	代表取締役社長 恒川 敬史
本社	愛知県名古屋市熱田区六野一丁目3番1号
創業	昭和3年6月1日
会社設立	昭和25年6月1日
資本金	6億800万円
売上高 ^{*1}	単独総売上高/2,257億円 連結総売上高/5,028億円
従業員数 ^{*1}	単独/2,746人 連結/8,070人

^{*1} 2022年3月末

主要製品

- ・マフラー
- ・エキゾーストパイプ
- ・エキゾーストマニホールド
- ・ボディ部品
- ・ドアインパクトビーム
- ・その他自動車部品
- ・冷間鍛造部品
- ・みがき棒鋼
- ・引抜鋼管
- ・機械構造用炭素鋼管
- ・切削/研削みがき棒鋼
- ・建築分野向け配管システム

主な取引銀行

三菱UFJ銀行、三井住友銀行、みずほ銀行、名古屋銀行

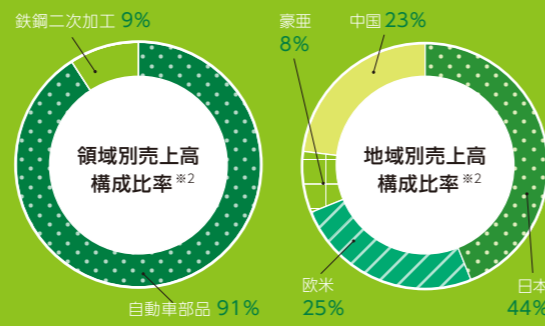
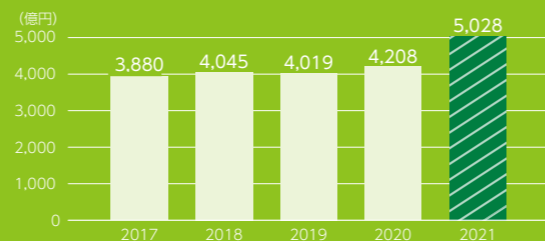
主な取引先(順不同)

トヨタ自動車株式会社
日野自動車株式会社
ダイハツ工業株式会社
日産自動車株式会社
三菱自動車工業株式会社
いすゞ自動車株式会社
株式会社SUBARU
マツダ株式会社
株式会社豊田自動織機
株式会社ジェイテクト
KYB株式会社
豊田通商株式会社
住友商事株式会社
浅井産業株式会社
株式会社メタルワン
株式会社カノークス

沿革

- 1928年 6月 恒川鉄工所を創業、プレス加工を開始
- 1934年 9月 株式会社豊田自動織機製作所と取引開始
- 1937年 8月 トヨタ自動車工業株式会社と取引開始
- 1950年 6月 株式会社三五を設立
- 1950年 9月 高蔵工場(現・本社 旧名古屋工場)を新設
- 1954年 3月 排気系(マフラー、エキゾースト)の製造開始
- 1962年 5月 本社名古屋工場にマフラー、エキゾーストパイプの研究室を設置
- 1967年 8月 三好工場(磨棒鋼の専門工場)を新設
- 1973年 11月 豊田工場にマフラー、エキゾーストパイプの技術・研究棟完成
- 1976年 5月 トヨタ生産方式導入
- 1987年 1月 米国に合弁会社「Arvin Sango, Inc.」設立(初の海外進出)
- 1994年 8月 八和田山工場に「技術本館」完成
- 2008年 11月 本社(旧ECO35)にマフラーミュージアム完成
- 2015年 6月 豊田技術センター(旧豊田工場)に「第2技術館」完成
- 2016年 5月 中国に「三五広州R&Dセンター」完成
- 2017年 10月 アメリカに「ASIテクニカルセンター」完成
- 2021年 6月 ISO9001・2015を認証取得

売上高推移 グループ連結



^{*2} 株式会社 三五および連結子会社を含めた2021年度の実績値

本社

〒456-0023
愛知県名古屋市熱田区六野一丁目3番1号
TEL (052) 882-0035
FAX (052) 882-3562

ECO35窓口 TEL (052) 882-3575
FAX (052) 882-3562

株式会社三五の
詳しい情報は
こちらから▼



<https://sango.jp>

工場 (中部地方に8工場)

▶豊田技術センター+R&Dセンター 〒471-0836 愛知県豊田市鴻ノ巣町三丁目1番地 TEL (0565) 28-3535(代) FAX (0565) 28-9080 	▶三好工場 〒470-0224 愛知県みよし市三好町井ノ口47番地 TEL (0561) 32-3511(代) FAX (0561) 34-0157 	▶福田工場 〒470-0294 愛知県みよし市福田町宮下1番地1 TEL (0561) 34-0035(代) FAX (0561) 34-1240 	▶とよはし工場 〒441-8074 愛知県豊橋市明海町三丁目33番地 TEL (0532) 23-3515(代) FAX (0532) 23-3519
▶八和田山工場+R&Dセンター 〒470-0224 愛知県みよし市三好町八和田山5番地35 TEL (0561) 32-3501(代) FAX (0561) 32-0235 	▶三好第3工場 〒470-0224 愛知県みよし市三好町池守田63番地 TEL (0561) 33-3595(代) FAX (0561) 33-3594 	▶いなべ工場 〒511-0508 三重県いなべ市藤原町藤ヶ丘1番地1 TEL (0594) 46-5135(代) FAX (0594) 46-3560 	▶米野工場 〒511-0502 三重県いなべ市藤原町上相場2438-1 TEL (0594) 46-8635(代) FAX (0594) 46-8636

国内・海外拠点

- A 株式会社 三五北海道**
〒059-1373
北海道苫小牧市真砂町41番地2
TEL (0144) 51-5135
- B 株式会社 三五関東**
〒304-0005
茨城県下妻市半谷1100番5
TEL (0296) 45-0035
- C 株式会社 三福**
〒828-0044
福岡県豊前市大字小石原185-8
TEL (0979) 84-0735
- D SEセンター**
〒160-0023
東京都新宿区西新宿3丁目2番11号
新宿三井ビルディング2号館1606号室
TEL (03) 5909-3935
FAX (03) 3347-1135
- E 株式会社 三五技術研究所**
〒456-0004愛知県名古屋市熱田区
桜田町17番12号
TEL (052) 884-3531
- F 株式会社 三五パートナーズ**
〒470-0294
愛知県みよし市福田町宮下1番地1
TEL (0561) 34-8301

- 1 トルコ (STI)**
Sango Turkey, Inc.(TUR)
- 2 インド (SIAP)**
Sango India Automotive Parts Pvt. Ltd.(IND)
- 3 タイ (2工場) (STEM)**
Sango Thai Engineering & Manufacturing Co., Ltd.(THA)
- 4 インドネシア (SID)**
PT. Sango Indonesia(IND)
- 5 中国・広州 (GSC)**
Guangzhou Sango Automotive Parts Co., Ltd.(CHN)+ R & D Center
- 6 中国・襄陽 (XSC)**
Xiangyang Sango Automotive Parts Co., Ltd.(CHN)
- 7 中国・天津 (TSC)**
Tianjin Sango Automotive Parts Co., Ltd.(CHN)
- 8 カナダ (ASCI)**
Arvin Sango Canada, Inc(CAN)
- 9 アメリカ (5工場) (ASI)**
Arvin Sango, Inc(USA)+ R&D Center
- 10 メキシコ (SAM)**
Sango Auto Parts Mexico, S.A. de C.V. (MEX)

海外技術支援先企業所在国
メキシコ、マレーシア、ブラジル、インドネシア、アルゼンチン、台湾、南アフリカ、タイ



製品紹介

排気システム



単管 エキゾーストマニホールド 二重管 エキゾーストマニホールド 触媒コンバータ(スピニング成形) 尿素SCRシステム 排気制御バルブ



スピニングサブマフラー バルブ付マフラー ヒートコレクタ

排気熱を利用することにより
暖房の効きを早くして環境負荷を低減

ボディ・シャシー製品



Aピラー ルーフサイドレール フロアクロスメンバー ラジエーターサポート ドアインパクトビーム



クロスメンバー ドアヒンジ キックリフォース

超ハイテン材の品質精度が確保できる
冷間プレス加工技術の開発

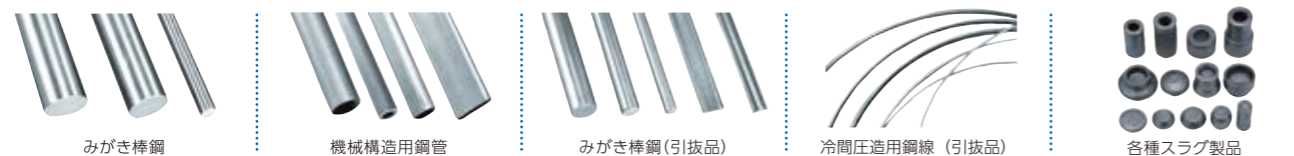
駆動系製品



ITCCシャフト デフィンタミシャフト プロペラシャフト リダクションギア

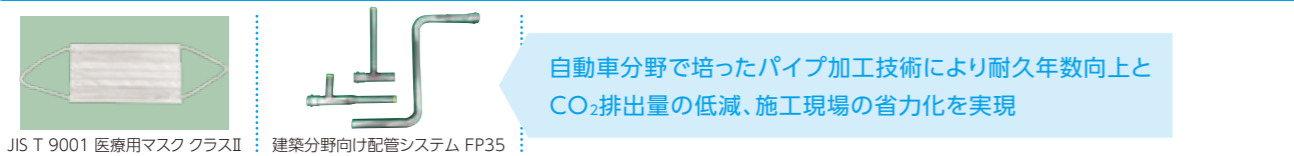
素材からの引き抜き・
冷間鍛造技術により
深孔難成形を実現

精鋼製品



みがき棒鋼 機械構造用鋼管 みがき棒鋼(引抜品) 冷間圧造用鋼線(引抜品) 各種スラグ製品

非自動車製品



JIS T 9001 医療用マスク クラスII 建築分野向け配管システム FP35

自動車分野で培ったパイプ加工技術により耐久年数向上と
CO₂排出量の低減、施工現場の省力化を実現

数字で見る三五 2021年度

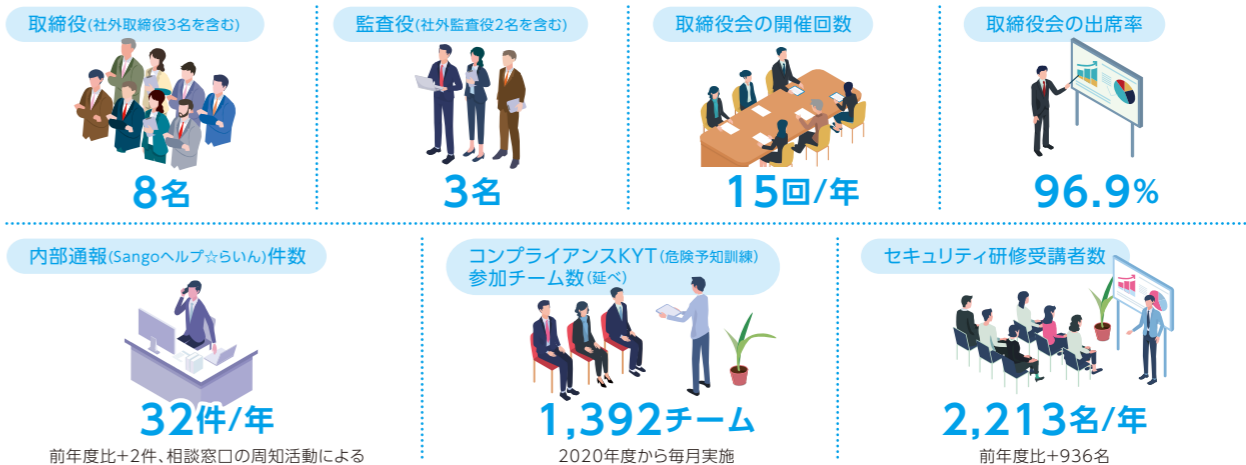
環境



社会



ガバナンス



*1 三五グループ全体の実績値(期間従業員・パート含む直接雇用人数) *2 株式会社三五及び国内事業体の連結実績値 *3 女性管理職数 ÷ 管理職数 × 100(%)、管理職=課長以上